

# 施策評価(平成30年度)

## 1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	1	ともにつくる住みよい地域社会の実現
施策	15	交通安全
基本方針		
交通安全施設の整備を進めるとともに、福生警察署など関係機関と連携・協力した交通安全対策を実施し、交通事故のないまちを目指します。		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">自転車利用環境の充実</a>	計画を見直し完了	A	A	B	現状のまま継続
<a href="#">安全で快適な道路環境の整備</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">交通安全活動への支援</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

## 3 施策評価結果

<p>施策15「交通安全」では、3事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「安全で快適な道路環境の整備」などの2事業が「計画どおり完了」であるが、「自転車利用環境の充実」は、状況調査や関係機関との調整が生じたことから、「計画を見直して完了」としている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>有効性(成果)については、「自転車利用環境の充実」は、検討委員会に遅れが生じたことから、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「交通安全施設の整備を進めるとともに、交通安全対策を実施し、交通事故のないまちを目指す」ことであり、「自転車利用環境の充実」においては、検討委員会に遅れが生じたものの、他市の状況調査や関係機関・土地所有者等との調整を進め、次年度も引き続き自転車駐車場の有料化に向けた検討を進めていくほか、「安全で快適な道路環境の整備」においては、自転車走行環境を整備したことで交通事故の未然防止を図った。</p> <p>また、「交通安全活動への支援」においては、児童・生徒及びPTAやボランティアを対象に交通安全講習会を開催し、交通事故発生件数の減少につながっていると捉えており、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られたものと評価する。</p>
---

1.基本項目		作成部署	市民生活部			防災安全課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 自転車利用環境の充実		平成 29 年	継続	自治事務	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	15	交通安全	管理No.	76

2.事業の概要

施策の基本方針	交通安全施設の整備を進めるとともに、福生警察署などの関係機関と連携・協力した交通安全対策を実施し、交通事故のないまちを目指します。
事業内容	自転車駐車場の利用環境の整備を図るため、自転車駐車場の運営に関する検討委員会を設置し、民間活力の導入を含め、有料化に向けた検討を行います。また、自転車を取り巻く環境の変化に対応するため、自転車利用などの総合的な計画の策定について検討します。
根拠法令	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律
条例	東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例 <input type="checkbox"/>
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	自転車利用の総合対策に関する検討委員会の設置 会議 5回  自転車利用の総合対策に関する検討結果の取りまとめ	自転車利用の総合対策に関する基本方針検討委員会(仮称)の設置  自転車駐車場の運営についての協議	検討結果に基づく自転車駐車場の運営準備  自転車駐車場の運営についての方向性の決定  自転車利用等の総合的な計画についての調査・研究	検討結果に基づく自転車駐車場の運営開始  方向性の反映  自転車利用等の総合的な計画の策定に向けた検討委員会の設置

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	1,160 H	1人	1,240 H	1人	1,320 H	1人	1,320 H
主事・主任職	1人	1,040 H	1人	1,120 H	1人	1,200 H	1人	1,200 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	6	8	8	8
人件費(係長職)	5,767	6,165	6,562	6,562
人件費(主任・主事職)	3,463	3,729	3,995	3,995
総事業費(合計)	9,236	9,902	10,565	10,565
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	9,236	9,902	10,565	10,565
財源内訳(合計)	9,236	9,902	10,565	10,565

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	178	円
イ 対象者	55,710	人における1人あたりのコストは、	178	円
ウ 成果(物)		の 出来高		円
※ 対象者:				

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

○「羽村市自転車利用に関する総合対策に関する検討委員会」が作成した報告書をもとに、副市長を座長、関係部署の部長等を委員とし、「羽村市自転車等に関する施策検討委員会」を設置した。そして、検討委員会を3回開催し、主に自転車駐車場の運営(有料化)について検討した。  
 ○羽村市自転車等に関する施策検討委員会設置要綱(平成30年6月7日施行)  
 ○羽村市自転車等に関する施策検討委員会  
 ○第3回検討委員会を受け、他市の状況調査や関係機関・土地所有者等との連絡調整を行い、調査・研究を進めた。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	8		8	8	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	1,240 H	1人	1,000 H
主事・主任職	1人	1,120 H	1人	1,000 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
自転車等に関する施策検討委員会 4回	⇒ 自転車等に関する施策検討委員会 3回

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
有(成果性) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>B</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

現在は、主に自転車駐車場の環境整備(ハード面)を図るため、有料化について先行して検討していたが、他市の状況調査や関係機関・土地所有者等との連絡調整を行い、予定に遅れが生じたことから、第四半期に計画を見直し、次年度も引き続き有料化について検討していく。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

自転車駐車場の運営(有料化)について、より具体的に検討するため、必要な情報の収集を綿密に行い方向性を決定していく。そして、市の財政状況を踏まえながら現実的に実施することが可能な施策を検討していく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 安全で快適な道路環境の整備		年				
01	市道第3028号線自転車専用通行帯設置等工事	平成 30 年	今年度限り	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	15	交通安全	管理No.	77

2.事業の概要

施策の基本方針	交通安全施設の整備を進めるとともに、福生警察署などの関係機関と連携・協力した交通安全対策を実施し、交通事故のないまちを目指します。
事業内容	歩行者や自転車が安心して利用できる道路環境の整備を図ります。また、関係機関と調整し、自転車レーンの設置や自転車ナビマークの表示を進めていきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	自転車ナビマーク設置箇所の検討・調整	同左  市道第3028号線自転車専用レーンの設置 L=350m	自転車ナビマークの表示 (表示箇所は、要望等により決定)	同左 (表示箇所は、要望等により決定)

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	1人	75 H	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費		6,425	1,800	1,800
人件費(係長職)		373		
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)		6,798	1,800	1,800
国庫支出金		2,750		
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金		2,900		
起債				
一般財源(人件費含む)		1,148	1,800	1,800
財源内訳(合計)		6,798	1,800	1,800

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

市道第3028号線について、警視庁より交通安全対策として自転車専用レーンの設置要請があったことから、本路線の路面補修工事と合わせて自転車走行環境の整備を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	6,425	▲ 1,534	4,891	4,891	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	75 H	1人	75 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
市道第3028号線自転車専用レーンの設置 350m	市道第3028号線自転車専用レーンの設置 347m

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手 率 性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成 効 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

自転車走行環境を整備したことで交通事故の未然防止が図られたものと考えている。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

関係機関と調整し、自転車レーンの設置や自転車ナビマークの表示を進め、歩行者や自転車が安心して利用できる道路環境の整備を図る。また、自転車走行環境の整備については、隣接する市町と連携し交通安全対策として効果的な路線を選定していく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	市民生活部			防災安全課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 交通安全活動への支援		平成 29 年	継続	自治事務	業務委託(一部)	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	学校教育課					
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	15	交通安全	管理No.	78

2.事業の概要

施策の 基本方針	交通安全施設の整備を進めるとともに、福生警察署などの関係機関と連携・協力した交通安全対策を実施し、交通事故のないまちを目指します。
事業 内容	PTAやボランティアによる横断歩道での安全活動を主体的に行っている方に対し、講習会などを開催し、歩行者はもとより、自分自身の安全にも配慮した活動ができるよう支援します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan(計画)	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	安全活動講習会の実施 (全市民を対象) 1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回
	安全活動講習会の実施 (各小学校で実施) 7回	同左 7回	同左 7回	同左 7回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	300 H	1人	300 H	1人	300 H	1人	300 H
主事・主任職	1人	200 H	1人	200 H	1人	200 H	1人	200 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	33	41	41	41
人件費(係長職)	1,492	1,492	1,492	1,492
人件費(主任・主事職)	666	666	666	666
総事業費(合計)	2,191	2,199	2,199	2,199
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	2,191	2,199	2,199	2,199
財源内訳(合計)	2,191	2,199	2,199	2,199

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	39	円		
イ 対象者	55,710	人における1人あたりのコストは、	39	円		
ウ 成果(物)	講習会	の 出来高	8 回	における1回 のコストは	274,875	円

※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

小学校自転車安全教室(H30.4~6月)に併せて、各小学校学区内の市民の方を対象に、福生警察署の署員とともに、交通安全活動について、講習会を7回実施した。また、中学生を対象としたスクエアドストレート方式による交通安全教室に併せて、市民の方を対象とした交通安全活動教室(H30.6.5)を実施した。そして、全市民を対象とした交通安全活動講習会を福生警察署の署員及び実際に交差点で活動しているスクールガードリーダーの方々に依頼し、安全活動講習会(H30.6.28)を実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	41		41	41	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	300H	1人	300H
主事・主任職	1人	200H	1人	200H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○安全活動講習会の実施 (全市民を対象) 1回	○安全活動講習会の実施 (全市民を対象) 1回
○安全活動講習会の実施 (各小学校で実施) 7回	○安全活動講習会の実施 (各小学校で実施) 7回

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

児童・生徒を対象とした交通安全講習会の開催、PTAやボランティアを対象とした交通安全活動講習会を開催し、歩行者はもとより、自分自身の安全にも配慮した活動ができるよう支援することで、交通事故発生件数の減少へつながっている。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

今後は、講演会や自転車交通安全教室の参加者を増やすため、教育員会や学校、PTA等との連携や、講習内容の質の向上を図り、より分かりやすいものにしていくことで、参加者を増やしていく。